

.....研究部通信を出すかどうか、まだ決まっていますが、とりあえず見切り発車します。

学級経営の要がそのごく初期の段階にあるということは、実はある程度当たり前のことでした。指導力のあるベテランの先生方は、その初期段階にかなりの力を注いでいたようです。

しかし、その重要性を「黄金の3日間」と名付け、特に限定して主張したのは、向山洋一氏率いる「教育技術の法則化運動」(現在 TOSS)の方々です。また、面白いことに「法則化」と対立している「全国生活指導研究会」(全生研)も、その後「学級開きに何をやるのか」ということを研修会テーマにしていたことがありました。

つまり、学級経営の初期段階の指導には、

様々な方法があるが、重要であることには違いない

と言えます。

さて、そこで私なりの初期段階の指導を書いておきます。繰り返しになりますが、「様々な方法」があります。また、私の方法が正しいわけでもありません。こうして実践を明らかにすることで、皆さんのご批判をいただければと思います。

#### 事前準備

学期はじめに担任として準備することをあげておきました。私の例ですので、こうしなさいと言うことではありません。皆さんが、お考えのところと違うところもあるかと思えます。もし何かあれば、ご指導下さい。情報交換しながら、よいスタートを切りましょう。

#### 学級経営スタートチェック表(私の場合)

##### 1, 引継関係

指導要領に目を通す。

全員の名前と顔を覚える。

健康面で配慮を要する子を確認する。(既往症・アレルギー等)

氏名表をパソコンで作る。(あると何かと便利)

学習面で配慮を要する子を確認する。

生活保護を受けている家庭の有無。

##### 2, 前日までの準備

座席を決定する。

当番活動をどうするか決めておく。

係活動をどうするか決めておく。

日直の仕事をどうするか決めておく。

学級目標をどうするか決めておく。(学級の経営方針と関わる)

学級のルールをどうするか決めておく。(給食・掃除・ノート・発表・忘れ物をしたときの報告)

掲示物(日直、当番表、その他のお便りの場所、カレンダー、目標)

掃除用具箱点検。

机イス破損個所点検。

その他の備品点検

教科書搬入。

初日に話すことを考える。

朝の会、帰りの会をどうするのか。

### 3, 1日目

出席をとる。

出会いのスピーチ。(自己紹介、子どもへの願い、叱る場合の約束など)

宿題があれば宿題を出す。

学習用具についての説明と準備期限を発表。(筆入れや定規等)

教科書配布。(記名の指示を)

### 4, 2日目

学習用具点検。(筆入れ 鉛筆はHB以上の濃さ3本以上、赤鉛筆、油性細ペン、消しゴム、キーホルダー、シャープ禁止などのルールを確認)

宿題点検。

日記導入。

日直の仕事説明。

各委員選出。

当番活動説明。

係活動説明決定。

国語・算数基礎学力調査。

給食のルール確認。

朝の会、帰りの会のやり方説明。

授業開き(教科書、ノートの記名確認、最高のネタ)

最初の3日間は、子どももまだまだ素直なはず。相談させて決めさせる部分と教師が毅然とした態度でルールを確立する部分があるように思います。お互いに情報を交換しながら、初動に落ちがないように助け合いましょう。

叱るときのルールを伝える

### **先生が厳しく叱ること**

これを、必ず毎年言っています。

あらかじめ、必ず予告しています。

いきなり、厳しくしかねれば、気分悪いですから。

3つだけです。

- ・ ずるい人
- ・ 人を大切にしない人
- ・ 時間を守らない人

これを話しました。3つ目の時に、「掃除をいつまでも始めないとか」と例を挙げたら、2, 3人顔を見合わせて、笑っている子がいました。

なにか、思い当たるところがあったのでしょうか。

明日の掃除が楽しみです。

(平成12年度学級通信より)

学級の方向性を示す

### **所信表明演説！！**

教室に戻ってまずこう言いました。

「太陽のように明るく、太陽のようにあたたかいクラスにしよう」と話しました。

次にリンカーンの話をしました。

こんな話です。

1831年アメリカでの話です。

ある男の人が、仕事で失敗をしました。その男の人は、32年、州議会選挙で落選。

34年に当選。

35年、恋人が死亡。

36年、ノイローゼになって、州議長選挙に落選しました。

43年、国会議員選挙に落選。46年、当選。48年、落選。50年、落選。

56年、国会議員選挙にまたもや落選。

60年、この男の人はどうなったでしょう？

『どうなったと思いますか？O君』『わかりません』

私は褒めました。「わかりません」と堂々と言えることは、とても大切なことです。わからないと言うことを、自覚しているから、人は学ぼうとするのですから。

次に、Sくんにあてました。

なんと、Tくんは正解を言ったのです。

答えは、「大統領になった」です。

この男の人の名前は、リンカーンです。

そして、話します。

「こういうことが起こるのです。できないことが、突然できるようになったり、計算の苦手な人が、1年間努力して、算数が得意になるって言うことがあるのです。人間あきらめない限り、大丈夫です。跳び箱が跳べない人、計算の苦手な人、好き嫌いのある人、あきらめないで努力する限り大丈夫です。みんなには可能性ががあります。」

(平成12年度学級通信より)

方向性を実感させる

大事なことは学級の方向性を只語ることではないのです。

その教師の語った「方向性」が実質的な「公理」として学級の中で働かなければ意味がありません。

只語るだけなら、それは「絵に描いた餅」です。

私は、平成12年次のように「公理」として働かせる「場」をつくっていました。

### 30秒スピーチ

宿題になっていました30秒スピーチ。自分の目標をまとめて話すということになっていました。

念のため初めに次のように聞きました。

『怠けていて、練習が十分ではなくて、先生の前でやる資格がないと思う人は、いますか?』

誰も手を挙げません。とても、嬉しいことです。全員練習してきたのです。

結果……。

たいへん、感動的な1時間でした。

なぜかと言えば、全員が努力をしてきたことがわかったからです。

みんなすばらしかったのです。

でも、特に印象深かったのが4人です。

星君。困っている人がいたら助ける、ということが主題の話でした。

その話っぷりの堂々としたこと。

『今の話に感動した人?』とみんなに聞くと、全員が手を挙げました。

H君は、スピーチのプロです。

次に、O君です。

O君は、「僕の目標は3つあります」と言ってから話し始めました。

こういうのを、予告文と言います。聞き手が、大変聞き易い話し方です。

とてもいいです。

次に、合田さんは、ユーモアがあったのでとてもすばらしかったのです。

「勉強で国語と算数を頑張る」と言った後に「水泳とスキーは先生に教えながら、頑張る」と言ったのです。

なんと温かく、楽しいスピーチなのでしょう。Gさんの人柄を表しています。

最後に、S君です。

S君は、話の中に数字をいっぱい入れました。

例えば、「これからは5時45分に起きたいです」というように。

そこが何と言ってもすばらしかったです。

単に「早起きしたいです」というのとは、話の具体性が違います。

スピーチでも、作文でも数字を入れることは、ひとつのコツなのです。

全員が終わった後、聞いてみました。

『今日、勉強したことは何ですか?』

子どもからは、「態度」という答えが返ってきました。

そうなのです。スピーチの方法より、勉強したことは、

「努力する態度(姿勢)」を学んだのです。

たった、30秒のスピーチをするのに、「82回も練習した」とS君が言っていました。何をやるにも、努力がたいせつだと実感してくれればいいと私は思います。

(平成12年度学級通信より)

### 学級内のルールを確立する

大事なことは、ルールをつくることではなく、ルールを実際に働かせ、子どもたちの一人残らずに徹底することにあるように思います。(そうしても、一人くらいは漏れるというところが、教育の前提であり、「実践」の面白いところです。できない子がいて当たり前。できない子にこそいとおしさを感じられたらいいですね。)